

第三問

(満点 100点)

第四問とあわせ
時間 2時間

次の各問に答えなさい。

問1 わが国の会計制度・原則・基準に関し、次の(1)～(4)に示すような意見については、それぞれ賛否両論が考えられる。各意見に対して想定される賛成論及び反対論を述べなさい。

- (1) 決算貸借対照表において、全ての資産は時価で評価すべきである。
- (2) 有価証券報告書等における損益計算書の末尾は、当期末処分利益(又は当期末処理損失)ではなく、当期純利益(又は当期純損失)までとすべきである。
- (3) 連結貸借対照表において、少数株主持分は資本の部に記載すべきである。
- (4) 有価証券報告書等において、連結財務諸表が掲載されていれば、親会社の個別財務諸表の掲載は不要とすべきである。

問2 払込資本を増加させる可能性のある部分を含む複合金融商品以外の複合金融商品の会計処理について、通貨オプションが組み合わされた円建て借入金を例にして、説明しなさい。